

(様式4-2)

研修成果概要

所属名 多気町立相可小学校
職名・名前 教諭 池下 浩人

- 1 事業の名称 平成27年度発達障がい児担当指導者内地留学
- 2 留学先の名称 三重県立小児心療センターあすなる学園
- 3 研修主題 あすなる学園で学んだ「地域での困り感を持つ子への途切れない支援の構築」に関する研究
- 4 研修成果概要

地域における「困り感を持つ子への途切れない支援」を考える際、「早期発見・早期支援」が何よりも重要である。1歳半健診や3歳児健診の保健分野での気づきとそのフォロー、幼稚園・保育園での支援と小学校への引き継ぎ、小学校での支援と中学校への引き継ぎと、早い段階で支援につなげ、その支援が途切れないようにしていくことが、子ども達の困り感を軽減し、地域での生活のしやすさに繋がっていくと考える。

地域での途切れない支援を実現していくうえでもっとも重要になるのは、幼稚園、保育園、小学校、中学校での保育士や教員の支援力であると考え。その「目利き・腕利き」力を向上させるために「CLMと個別の指導計画」を活用することは大変有効である。

「CLMと個別の指導計画」とは、子ども達の生活の中で起こる出来事(エピソード)から、気になる行動をチェック、その要因を考え、支援を考えていくアセスメントツールである。評価も行うことで、支援の有効性もチェックでき、繋がりのある支援を行うことができる。「CLMと個別の指導計画」を行うことで、指導者の要因分析力、適切な支援力を向上させることができる。「CLMと個別の指導計画」は幼児期の支援が対象であるが、子ども達をアセスメントし、適切な支援を行い、子ども達に自己肯定感を積み重ねていくということでは、小学校や中学校でも同じである。

今研修で学んだことを活かして、地域での途切れない支援の一役を担えるよう、今後も自分自身の「目利き・腕利き」力を向上させていきたい。